

平成21年度 当初予算・新政策

～「未来に羽ばたく元気な和歌山」の実現に向けて～

平成 21 年 2 月
和 歌 山 県

I 平成21年度新政策の基本的な考え方

基本方針

和歌山県長期総合計画がめざす将来像の実現に向け、一步一步着実に前進するとともに、現下の経済情勢に対して迅速かつ的確に対応するため、平成21年度新政策を推進

- ① 景気対策・地域活性化のためにただちに取り組む施策は、平成20年度内から対応
- ② 現在の不況期を脱し、好況期に転じる際に乗り遅れないための「底力を蓄える施策」に注力
- ③ 県民の生活に対する不安感を払拭する「安全安心施策」に注力

緊急対策

- ◇ 県内企業の資金繰り対策
- ◇ 景気対策や地域活性化に資する施策
- ◇ 緊急的な雇用対策

公共投資の大幅拡大
と前倒し執行

底力を蓄える施策

- 「わがまち元気プロジェクト」
- たくましい商工業づくり
- 攻めの農林水産業づくり
- 観光立県 和歌山
- 環境先進県 和歌山
- 成長を支える人づくり
- 成長に不可欠なインフラの整備
- ◇ 国際展開への道筋

安全安心施策

- 安心医療県 和歌山
- 安心して地域で暮らせる和歌山
- 防災対策が充実した安全な生活
- 日々の暮らしの安全・安心
- ◇ 県民の安全安心に向けた基金の造成

平成21年度当初予算 5,229億円

平成20年度2月補正予算(景気対策分) 144億円

平成20年度12月補正予算(景気対策分) 30億円

[対前年度比 2.3%増 2月補正、12月補正分を含めると 5.7%増]

※ 公共投資予算 1,153億円

[対前年度比 75億円(7.0%)増]

現下の社会経済情勢に対する緊急対策

世界的な景気後退が見られる中で、企業の厳しい資金繰りの現状や派遣労働者の解雇・新卒者への内定取り消しなどの問題等を踏まえ、県民生活と本県経済を守るための緊急対策を実施します。

1. 県内企業の資金繰り対策〔融資枠900億円〕

○資金繰り安定資金・経営支援資金の融資枠確保

借換資金の再借換可能・県庁や各振興局での融資相談窓口継続

2. 景気対策や地域活性化に資する施策〔1,153億円〕

○県民生活に密接な社会資本整備推進(道路・橋梁の整備、県立学校施設の改修など)

○民間建設投資の促進(住宅新築時の合併処理浄化槽設置への支援)

○社会資本整備関連事業の早期発注

公共投資予算:1,153億円(補正による前倒し分含む)〔前年度比75億円(7.0%)増〕
このうち58億円については、地域活性化・生活対策臨時交付金を有効に活用

※地域活性化・生活対策臨時交付金の活用

◆ 国体関連:紀三井寺運動公園・県立室内プール(仮称)・県立総合体育館(仮称)など、国体開催施設の整備

◆ 防災対策:震度計更新や緊急地震速報の導入、孤立集落の通信確保(衛星携帯等導入支援)、健全度の低い橋梁124橋の長寿命化など

◆ 基盤整備:高等学校の校舎・体育館の改修や県有施設への太陽光発電導入、ケーブルテレビに係る市町村補助など

3. 緊急的な雇用対策〔基金造成60億円(2月補正)〕

○「和歌山で働きませんか!」プロジェクトの推進

○「和歌山で農業しませんか!」プロジェクトの推進

○「和歌山で福祉・医療の仕事しませんか!」プロジェクトの推進

○ふるさと雇用再生特別基金(44億円)や緊急雇用創出事業臨時特例基金(16億円)の活用

深刻化する雇用情勢に迅速かつ効果的に対応するため、今後の地域発展に寄与し、安定的な雇用継続が見込まれる事業や臨時的・一時的な雇用を創出する事業を実施

成長への底力を蓄える施策の展開

我が国の経済が現在の不況期を脱し、次の好況期に向かう時、いかにその流れに乗って経済成長を実現するかが、「元気な和歌山の創造」のカギとなっています。

平成21年度では、次への飛躍へ向けた「底力を蓄える施策」を重点的に実施します。

■ 「わがまち元気プロジェクト」による「1市町村1産業」の推進

■ たくましい商工業づくり [4,787百万円]

- 新リーディング産業の創出
- 和歌山産業の成長力強化
 - ・わかやま農商工連携ファンドの活用
- 企業誘致の推進

■ 攻めの農林水産業づくり [9,236百万円]

- 新農林水産業総合戦略の推進
- 紀州林業の復権
 - ・低コスト林業の推進と紀州材の販売促進
- 水産わかやまの再生
 - ・拠点市場の整備支援や強い養殖業づくりの推進

■ 観光立県 和歌山 [349百万円]

- 和歌山を売り出す
 - ・「世界遺産登録5周年記念事業」の展開
- 和歌山に招く
 - ・ふるさと大使、わかやま応援団
 - ・修学旅行・年金旅行誘致
- 和歌山でもてなす
 - ・観光産業の「おもてなし力」向上

■ 環境先進県 和歌山 [216百万円]

- 太陽光の利用拡大
 - ・住宅・県有施設に太陽光発電を積極的に導入
 - ・利用拡大から太陽光発電関連企業立地へ
- 木質バイオマスエネルギーの利用拡大
 - ・地産地消型利用と発電所での商業利用

◇ 国際展開への道筋 [338百万円]

- 県内企業の海外販路開拓
- 農水産物・加工食品輸出促進
- 国際観光の推進
 - ・外国人に快適な観光地づくり
 - ・海外でのプロモーション
- 国際的に活躍する人材の育成
 - ・青少年の国際交流

■ 成長を支える人づくり [114百万円]

- 「ことばの力」の育成による確かな学力の向上
- 「きのくに共育コミュニティ」を基盤とした市民性の育成
- よき職業人の育成
 - ・大学・和高専で県内企業経営者による講義
- 青少年の健全育成
 - ・リレー式次世代健全育成

■ 成長に不可欠なインフラの整備 [24,928百万円]

- 道路網の整備
 - ・近畿自動車道紀勢線、京奈和自動車道
 - ・府県間道路・内陸部骨格道路・高速道路関連(ICアクセス)
- 情報通信基盤整備
 - ・ブロードバンド基盤整備、携帯電話不感地域解消、地上デジタル放送難視対策

生活の不安感を払拭する安全安心施策の展開

我が国では派遣労働者の解雇の問題や新規卒者の内定取り消しなどが社会問題化するなか、さらに高齢化が進展する社会に向け、生活の先行きに対する不安感が増してきています。

平成21年度では、県民の先行きに対する「生活の不安感を払拭する安全安心施策」を重点的に実施します。

■ 安心医療県 和歌山 [5,588百万円]

- 地域の拠点病院等における診療体制の堅持
 - ・病院勤務医の負担軽減等による医師確保
- 救急・周産期の安心医療
 - ・診療可否情報のリアルタイム化
- がん対策の総合的な推進
 - ・院内がん登録の推進

■ 安心して地域で暮らせる和歌山 [1,038百万円]

- 高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり
 - ・「民生協力員」制度の創設
 - ・元気な高齢者が地域の困っている高齢者等を支える仕組みづくり
- 障害のある人が安心して暮らせる環境づくり
 - ・障害児療育等支援アドバイザーの派遣
 - ・グループホームやケアホームの充実

■ 防災対策が充実した安全な生活 [16,315百万円]

- 災害時の伝達体制等の強化
 - ・孤立化集落の通信手段の確保
- 災害予防・減災のための基盤整備
 - ・H25度末まで 緊急輸送道路の橋梁耐震化完了
 - ・H26度末まで 県有施設の耐震化完了

■ 日々の暮らしの安全・安心 [148百万円]

- 消費生活相談体制の充実強化
 - ・消費生活相談を担う人材の育成
 - ・市町村の消費者行政活性化の取組支援
- 食の安全・安心
 - ・流通・販売段階における衛生管理マニュアルの作成
 - ・「いわゆる健康食品」の安全対策

◇ 県民の生活安心に向けた対応 [基金造成23億円(2月補正)]

- 安心して子育てできる体制整備、福祉・介護人材の育成、障害者自立支援法の円滑な施行などに関する基金を造成
〔子育て支援対策臨時特例基金(6.8億円)、障害者自立支援対策臨時特例基金(9.5億円)、妊婦健康診査支援基金(5.5億円)、消費者行政活性化基金(1.5億円)〕

Ⅱ 平成21年度当初予算（平成20年度2月補正予算等）の概要（1）

新政策に関する【積極的な予算措置】
（緊急対策、底力を蓄える施策、安全安心施策等）

新行財政改革推進プランにおける収支不足額の
堅持と、更なる収支改善【行財政改革の推進】



※以下、新行財政改革推進プラン=「プラン」

● 県内企業の資金繰り対策の充実 <融資枠900億円>
中小企業融資制度貸付金：106億円増（対前年度比23%増）

● 公共投資（道路・学校・国体施設等）の総量確保、早期執行
投資的経費：75億円増（対前年度比7%増の1,153億円）2月補正等含む
2月補正に42億円措置。12月補正29億円も含め、早期発注

● 雇用対策の早期実施 <新規に60億円を予算措置>
緊急雇用：6億円、安定的雇用：16億円をH21当初に予算化

● その他「新政策」関連事業の推進
6分野20本の柱に基づく新政策関連予算の確保

● 人件費の削減 <63億円減>（退職手当30億円減含む）
・職員定数288人削減（16,943人→16,655人）プランから更に44人削減
・給与カット継続：10億円削減（知事等6%管理職2%一般職1%カット）

● 事務事業の見直し<10億円減（一般財源ベース）> 等
・補助金、施設、外郭団体の見直し等によりプラン目標達成
（補助金7.1億減、施設1.2億減、外郭0.3億減、その他増減含む）
・使用料及び手数料の見直しによる歳入の適正化：0.2億増

● 将来への備え（後年度負担軽減）
・県債発行額（臨財債※除く）を、プランの想定から44億円減
・国体開催に備え、運営経費財源として、20億円を基金積立

※臨財債＝臨時財政対策債（交付税制度見直しに伴い、平成13年度に制度化）

悪化する県内経済を財政出動により下支えし、元気な和歌山を創造。

歳出規模 増加

平成21年度当初予算 5,229億円
平成20年度2月補正予算（景気対策分） 144億円
平成20年度12月補正予算（景気対策分） 30億円
（対前年度比2.3%増。2月補正、12月補正分を含めると5.7%増）

収支不足額（基金取崩額）：62億円
新行革プランの収支不足額：67億円
5億円
財政状況 改善
（改善額）

Ⅱ 平成21年度当初予算（平成20年度2月補正予算等）の概要（2）

■平成21年度当初予算の概要（予算フレーム）

	20年度 当初予算 (C)	21年度 当初予算 (D)	増減額 (D)-(C)	増減率 D/C
歳出 (A)	5,112	5,229	117	2.3%
人件費	1,617	1,554	△ 63	△3.9%
公債費	659	676	17	2.6%
(補正による前倒し含む) 投資的経費	1,078	(1,153) 1,082	(75) 4	(7.0%) 0.4%
その他支出	1,758	1,917	159	9.0%
社会保障関係費	429	443	14	3.3%
歳入 (B)	5,050	5,167	117	2.3%
県税(地方法人特別譲与税含む)	1,058	976	△ 82	△7.8%
地方交付税・臨財債	1,764	1,842	78	4.4%
国庫支出金	682	669	△ 13	△1.9%
県債(臨財債を除く)	561	577	16	2.9%
その他収入	985	1,103	118	12.0%

収支不足額(A)-(B)	62	62
--------------	----	----

新行革プランの
H21収支不足額
は、67億円。
(5億円の収支改善)

財調・県債基金年度末残高	151	115
--------------	-----	-----

※新行財政改革推進プランの投資的経費は、災害復旧費等を「その他の経費」に分類している。

■平成21年度当初予算のポイント（20年度当初予算との比較）

- 歳出規模の増加（+117億円）
中小企業融資貸付金+106億円、雇用対策+22億円 等
- 投資的経費の増加、早期執行（+75億円）
補正予算(12月・2月)を含む公共投資は、対前年度+75億円
- 県税収入の減少（△82億円）
景気悪化に伴う法人事業税△40億円(地方法人特別税影響分除く)
- 地方交付税の減少・臨時財政対策債の増加
地方交付税△147億円、臨時財政対策債+225億円
- 県債の抑制(実質±0億円)
わかやま農商工連携ファンド貸付金債(+16億円皆増)を除けば、±0億円

■平成20年度2月補正(景気対策分)のポイント

- 平成20年度2月補正予算(景気対策分)は、144億円
 - ①景気対策・地域活性化関連予算 : 35億円
(国体施設整備、防災対策、学校施設整備等)
 - ②国の2次補正に伴う公共事業等 : 9億円
 - ③国の2次補正に伴う各種対策への備え: 100億円
(雇用対策、福祉対策、地域振興、消費者行政に関する基金積立金)

Ⅲ 平成21年度新政策 — 6分野20本の柱 —

6分野20本の柱		予 算 額 (単位：千円)
I	未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	1,346,286
	1. 初等・中等教育における和歌山モデルの確立	184,672
	2. 国体開催を視野に入れた青少年の体力・競技力の向上	882,672
	3. 次代を担う青少年の育成	278,942
II	生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	7,791,489
	4. 少子化対策の強化・子育て環境の整備	965,180
	5. 高齢者や障害のある人が活躍できる社会づくり	740,181
	6. 安心して地域で暮らせる福祉の充実	338,042
	7. 医師の確保や地域医療の充実	5,522,890
	8. 健康長寿・がん対策の推進	225,196
III	国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	14,022,696
	9. 元気企業の誘致・育成支援	4,786,745
	10. 農業王国わかやまの創造	3,447,594
	11. 紀州林業の復権	5,057,326
	12. 水産わかやまの再生	731,031
IV	癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	5,036,707
	13. 観光資源の売り出し促進	349,414
	14. 元気な地域づくり	492,795
	15. 魅力ある地域づくり	369,163
	16. 地球温暖化対策と循環型社会の構築	3,825,335
V	県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	16,462,354
	17. 東南海・南海地震等の自然災害への備え	16,314,799
	18. 日々の暮らしを守る安全安心の確保	147,555
VI	にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	40,427,986
	19. 交通ネットワークの整備	40,037,897
	20. 情報基盤の充実	390,089
合 計		79,096,094

※各柱には再掲事業を含むため、合計欄とは一致しない。

1 初等・中等教育における和歌山モデルの確立

【政策課題】

- ・ 社会の激しい変化に対応できる「生きる力」の育成
- ・ 「確かな学力」に関わる判断力や表現力の定着
- ・ ふるさとを愛し守り育てる意欲や態度の育成
- ・ 障害の重度・重複化や多様化への対応
- ・ いじめや不登校、暴力行為等の未然防止や早期対応

【政策の方向】

- 市民性を高め、勤労観・職業観を育む教育の充実
- 確かな学力の向上と「ことばの力」の育成
- 郷土への愛着を育む教育の充実
- 特別支援教育の充実
- いじめ・不登校、校内暴力等生徒指導上の課題への対応

【達成のための政策】

1 市民性の育成

- 「きのくに共育コミュニティ」の形成を基盤とした市民性の育成
 - ・ きのくに市民性教育推進 【57,174(⑩10,000)】
各地域に共育コミュニティを形成し、それを基盤として地域全体で子どもを育てる取組を進め、地域住民の市民性を高める
- 全学校で生命尊重、規範意識、公共心を醸成

2 「ことばの力」の向上・読書活動の推進

- 思考力・判断力・表現力の基盤となる言語の能力の向上
 - ・(新)「ことばの力」総合推進 【4,443】
国語科を軸とした授業実践や、「ことばの力」を伝える人材派遣等を通じ、児童生徒の探求心やプレゼンテーション能力を伸ばす
 - ・ 「ことばの力」向上プログラム 【1,543(⑩3,372)】
きのくにジュニア文芸賞、高校生よみかたりボランティア養成等

3 ふるさと学習の充実

- 児童・生徒のふるさとを愛する心を育成
 - ・(新)ふるさとわかやま学習支援 【6,983】
児童自らがふるさとを学ぶための冊子を作成
ふるさとわかやま学習大賞の創設
 - ・(新)湯川秀樹博士ノーベル物理学賞受賞60周年記念 【1,200】*
 - ・ 出あい・ふれあい・学びあい 【7,849(⑩9,571)】
 - ・ 紀の国先人顕彰 【1,234(⑩1,334)】

4 よき職業人の育成

- 産学官連携による人材育成
 - ・ 和歌山を元気にする職場体験 【5,438(⑩10,596)】*
全公立中学校で5日間程度の職場体験の実施
 - ・ 教育コンソーシアムWAKAYAMA 【5,912(⑩7,047)】*
産学官が連携したインターンシップの推進、きめ細かな就職指導
 - ・(新)大学や和高専で県内企業経営者等による実践的な講義実施*

5 外部人材の積極活用

- 外部人材を学習活動で積極活用
 - ・ 親と子どものためのきらめき“夢”トーク 【4,169(⑩3,817)】*
日本を代表するオピニオンリーダーの講演

6 特別支援教育の推進

- 障害のある児童生徒の自立と社会参加*
 - ・(新)障害のある生徒の職業的自立推進
就労サポーターの学校派遣や卒業後の生徒支援システム構築

7 時代の変化に対応した学校づくり

- ・ きのくにスクールサポート 【16,382(⑩8,191)】*
生徒の問題行動の未然防止と規範意識の高揚を図るため、非行防止教室を実施するとともに、教職員と協力して問題の解決にあたる「学校支援サポーター」を学校に派遣

【和歌山県教育振興基本計画】(平成21年3月)の推進

2 国体開催を視野に入れた青少年の体力・競技力の向上

【予算：882,672 千円】

【政策課題】

- ・ スポーツを通じた和歌山の元気づくり
- ・ 県民全体のスポーツ気運の喚起
- ・ 青少年の体力・運動能力の低下

【政策の方向】

- 第70回国民体育大会の開催準備と気運の醸成
- 世界を目指した競技力の向上
- 児童生徒の健やかな体づくり

【達成のための政策】

1 国体の開催準備・競技力の向上

○国体気運の醸成

国体を開催するための調査研究、準備委員会の設立
和歌山県スポーツ振興基金の設置

- ・ 第70回国民体育大会の開催準備 【50,044(②22,699)】
- ・(新)和歌山県スポーツ振興基金 【50,100】

○スポーツ競技力向上に係る組織・基盤の充実

競技力向上対策本部の運営、ジュニアからの一貫指導体制の推進

- ・ トップアスリート育成【117,598(②98,997)】
国民体育大会等で活躍できる選手育成を目指し、トップ強化コーチの招へいやジュニアコーチのスキルアップ
トップレベルの競技力を有するスポーツクラブの活性化
- ・ ハイスクール強化校指定【30,000(②30,000)】
県内高校42運動部を強化指定し、合宿等の遠征費等を支援するとともに、エクセレントコーチを派遣
- ・ ジュニアハイスクール指定【17,850(②11,850)】
専門の実技指導者がいない中学校運動部に、高度な専門技術を持つテクニカルコーチを派遣
中学校体育連盟の各競技専門部と連携し、指定する運動部の遠征費等を支援
- ・ ゴールデンキッズ発掘プロジェクト【37,293(②39,153)】
能力水準の高い小学生を発掘し、発育・発達段階に応じたプログラムにより、トップアスリートとして育成

○国体関連施設の整備

国体メイン会場の再整備等に係る整備内容の検討や和歌山県立総合体育館(仮称)の整備

- ・(新)国体関連公園施設整備【155,102(うち②補正140,370)】
紀三井寺公園の再整備や県営水泳場の整備に係る基本的な設計など
- ・(新)和歌山県立総合体育館(仮称)整備
【185,454(うち②補正79,121)】
県立体育館・武道館の老朽化による代替施設整備

2 青少年の体力向上

○青少年の体力向上を目指したスポーツ環境の整備充実

- ・ 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催
【19,806(②19,460)】
- ・ きのくにチャレンジランキングの実施
- ・ 屋外運動場芝生化促進【19,180(②13,723)】

「和歌山県スポーツ振興基本計画」、「国体開催基本構想」の推進

3 次代を担う青少年の育成（新）

【予算：278,942千円】

【政策課題】

- 和歌山の将来を担う青少年の健全育成

【政策の方向】

- 家庭・学校・職場・地域における青少年の健全育成
- 社会的ひきこもり対策を含む若者の自立支援

【達成のための政策】

1 青少年の健やかな成長を促す環境づくり

○さまざまな体験や交流機会の提供

- 国際的に通用する人材を育成するため、青少年の山東省やブルネイ等との相互派遣
- 子ども農山漁村南北交流推進【14,702(◎5,767)】*
(新)県単独でも小学生の農山漁村での宿泊体験活動を展開市町村の受け入れ体制整備を支援
- (新)湯川秀樹博士ノーベル物理学賞受賞60周年記念
科学教育に関するシンポジウム等実施
【1,200】*
- 親と子どものためのきらめき“夢”トーク
【4,169(◎3,817)】*
日本を代表するオピニオンリーダーの講演
- 青少年の家の活用
青少年施設の整備
学習指導要領の改定による集団宿泊活動受入
「子ども農山漁村交流プロジェクト(国・県)」の受入

○青少年の健やかな成長を促す環境づくり

- (新)リレー式次世代健全育成【3,826】
地域の青少年リーダーが次世代リーダーを養成する青少年育成の循環システム

2 困難を抱える青少年への支援

○問題を抱えた青少年への支援

- きのくにスクールサポート【16,382(◎8,191)】*
生徒の問題行動の未然防止と規範意識の高揚を図るため、非行防止教室を実施するとともに、教職員と協力して問題の解決にあたる「学校支援サポーター」を学校に派遣
- 非行少年等の立ち直り支援のための基盤づくり
(新)学校・警察・相談機関・就労支援機関等での情報共有による総合的立ち直り支援ネットワークの構築
- ハイスクールサポートカウンセラー配置【19,278(◎22,680)】*
長期欠席、不登校生徒を抱える県立学校にカウンセラー配置

○ひきこもり対策の充実

- ひきこもりお助けネット【13,777(◎5,774)】
(新)ひきこもり者社会参加支援センターでの専門家支援や社会体験などセンター機能を強化

3 社会的自立をめざす青少年への支援

- (新)大学や和高専で県内経営者等による実践的な講義実施*
- 和歌山を元気にする職場体験【5,438(◎10,596)】*
全公立中学校で5日間程度の職場体験の実施
- 教育コンソーシアムWAKAYAMA【5,912(◎7,047)】*
産学官連携したインターンシップの推進、きめ細かな就職指導
- 若年者自立支援ネットワーク【19,661(◎19,388)】*
訪問やカウンセリング等、個別・継続的な支援で就労に誘導
- 若年者トータルサポート【23,671(◎24,886)】*
ジョブカフェわかやままでのキャリアカウンセリング、セミナー等

4 少子化対策の強化・子育て環境の整備

【予算：965,180 千円】

【政策課題】

- ・子育て家庭の経済的負担
- ・子育てと仕事の二者択一の状況
- ・核家族化、地域社会との関わりの希薄化等により厳しさの増す子育て環境

【政策の方向】

- 子育て家庭の経済的負担の軽減
- 子育てと仕事の両立支援
- 地域特性を活かした子育て推進
- 児童虐待への対応強化と発生予防

【達成のための政策】

1 子育て家庭の経済的負担の軽減

- 紀州3人っこ施策
 - ・ 第3子以降の3歳未満児保育料の無料化 【97,000(◎100,000)】
 - ・ 3子以上を育てる家庭の就学前児童の一時預かり等利用料の助成 【1,500(◎1,950)】
- 妊婦健康診査費助成の拡充
 - ・ (新)14回分の妊婦健康診査費用を助成 【251,554】
- こうのとりサポート
 - ・ 不妊治療費の助成や不妊相談 【35,619(◎39,836)】

2 子育てと仕事の両立支援等

- 多様な保育サービスの推進
 - ・ 病児・病後児保育、一時保育等 【26,596(◎30,436)】
 - ・ 私立幼稚園預かり保育の推進 【48,770(◎50,380)】
- 仕事と生活の調和の推進
 - ・ 家事・育児への共同参画の推進 【1,062(◎1,151)】
 - ・ 仕事と家庭を考えるセミナー等の実施 【594(◎515)】
 - ・ 中小企業労働施策アドバイザーの派遣 【2,292(◎2,292)】
 - ・ 子育て応援企業認定制度

3 地域特性を活かした子育て推進

- ・ (新)ファミリーサポートセンター広域的対応への取組支援
- ・ ファミリーサポートセンター設置 【1,000(◎2,221)】
- 子育て支援拠点の充実
 - ・ 地域子育て支援拠点の活動支援 【130,539(◎120,767)】

4 児童虐待対策の充実

- 児童虐待の未然防止と対応強化
 - ・ 児童虐待等対応機能強化 【7,263(◎7,519)】
 - ・ (新)児童家庭支援センター運営 【9,615】
社会福祉法人に運営を委託し、虐待等の相談に対応
 - ・ (新)障害児療育等支援アドバイザー派遣 【3,920】*
- ケア機能の充実と自立支援
 - ・ 自立援助ホーム運営 【14,411(◎7,133)】
 - ・ (新)ファミリーホーム(小規模住居型児童養育事業)運営 【12,432】
養育者の住居で要保護児童を養育するファミリーホームの運営を支援
- 「子ども虐待防止基本計画(仮称)」の推進
虐待防止策を総合的かつ計画的に推進(計画期間:21年度～25年度)

5 子育て支援対策臨時特例基金の活用

- 子育て支援サービスの整備
 - ・ (新)保育所等の施設整備支援や保育士の研修など 【303,877】

*「和歌山県次世代育成支援行動計画」(紀州っ子元気プラン)を引き続き推進

5 高齢者や障害のある人が活躍できる社会づくり（新）

【予算：740,181千円】

【政策課題】

- ・ 高齢者が豊富な知識・経験・技術を活かし生きがいをもって社会参画できる環境づくり
- ・ 障害のある人が社会のあらゆる活動に参画できる環境づくり

【政策の方向】

- 元気高齢者の就業促進、安全安心に暮らせるまちづくり、健康づくり・介護予防など総合的な施策の推進
- 障害のある人が能力・適性に応じ自立した生活を送るための環境整備

【達成のための政策】

1 高齢者が社会参画できる環境づくり

- 高齢者の多様な働き方の推進
 - ・ (新) 高齢者による地域あんしん・見守り等構築 【11,800】*
地域の元気な高齢者が、困っている高齢者を支える
シルバー人材センター、市町村社協への支援
 - ・ 中高齢者雇用対策 【6,960(◎8,067)】
65歳までの継続雇用の促進
 - ・ 喜びの国づくり推進(一部) 【4,618(◎5,332)】
高齢者無料職業紹介所・高齢者総合相談センター運営
- 地域の安全・安心における高齢者の貢献
 - ・ (新) 高齢者による地域あんしん・見守り等構築 【11,800】*
民生委員の補助的担い手として「民生協力員」を制度化
 - ・ 高齢者がイキイキと暮らせる街づくり【4,680(◎4,950)】
シニアのためのボランティアデビューお助け講座
- 高齢者の健康づくり・介護予防の推進
 - ・ (新) 介護予防運動推進 【5,000】*
運動器疾患予防対策としての運動プログラム開発等
 - ・ 元気高齢者への健康づくり等活動支援 【2,556(◎3,497)】
民間組織やシニアパワーを活用した介護予防の普及
- 社会参画を進める環境づくり
 - ・ (新) シニアのICT活用による地域活性化モデル 【4,646】*
 - ・ (新) 人口減少地域等交通活性化・再生支援 【24,000】*

2 障害のある人が社会参画できる環境づくり

- 障害のある人が地域で安心して暮らせる環境づくり
 - ・ (新) 障害児療育等支援アドバイザー派遣 【3,920】*
 - ・ グループホーム・ケアホーム充実支援【55,863(◎39,478)】
地域での居住の場を確保するため、GH・CH整備を支援
 - ・ 在宅障害者対策 【560,765(◎544,236)】
自立と社会復帰を促進するため、居宅介護等を支援
- 障害のある人の自立と社会参加促進
 - ・ 障害者スポーツ振興 【14,177(◎12,905)】
スポーツを通じて県民の理解と障害のある人の社会参加を促進
 - ・ (新) 障害のある生徒の職業的自立推進
就労サポーターの派遣や卒業後の支援システムの構築
- 障害のある人の就労支援・雇用促進
 - ・ 就労インターンシップ強化 【7,680(◎3,800)】
福祉施設利用者の就労体験支援
 - ・ (新) 工賃収入向上のための人材育成 【1,000】
民間企業と協働した研修等により清掃業務を受託、安定した工賃収入の獲得につなげる
 - ・ 障害者就業支援 【4,088(◎3,650)】
障害者や事業所の要請に基づきジョブサポーター派遣

「紀の国障害者プラン2004」(平成21年3月改定)の推進

「わかやま長寿プラン2009」の推進

6 安心して地域で暮らせる福祉の充実（新）

【予算：338,042千円】

【政策課題】

- ・ 地域住民の誰もがどんな状況に置かれても、安心して生活できる地域のつながりの再構築

【政策の方向】

- 介護が必要となっても地域で支え合い、安全・安心に暮らせる社会づくり
- 適正な福祉サービスの提供促進
- 住民参加の地域福祉の充実

【達成のための政策】

1 地域ケア体制の充実

高齢者が介護等が必要な状況になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅での生活を支える総合的で切れ目のないサービスを提供する地域ケア体制の構築を進める

- ・ 地域包括支援センター強化支援 【7,176(②5,113)】
地域ケア体制を支えるセンターの機能強化

2 福祉・介護人材の確保

○福祉・介護人材の確保対策

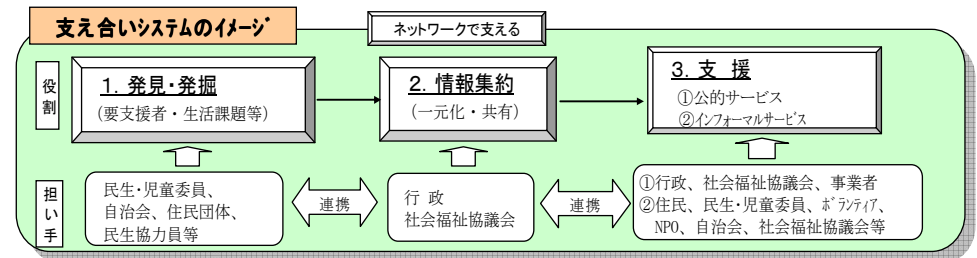
- ・ 介護報酬改定(プラス3%)による介護従事者の処遇改善
- ・(新)介護福祉士等修学資金貸付 【(②補)85,760】
介護福祉士、社会福祉士養成施設入学生に資金貸付
- ・(新)進路選択学生等支援 【7,700】
介護福祉士養成施設へ進路相談・助言等を行う専門員配置
- ・(新)潜在的有資格者等養成支援 【38,203】
有資格者の再就業、団塊世代や主婦等の新規参入を促進
- ・(新)複数事業所連携 【17,625】
小規模事業所の合同の求人活動や研修を支援
- ・(新)職場体験実施 【3,168】
福祉施設で実務体験する機会を提供
- ・(新)介護労働者の確保・支援【3,180】
生活(介護)支援サポーター養成研修等を支援

○ 和歌山県地域福祉推進計画(第2期)の策定 (計画期間:平成22年度～26年度)

3 新たな支え合いシステムの構築

○地域福祉の推進

- ・(新)高齢者による地域あんしん・見守り等構築 【11,800】*
民生委員の補助的担い手として、「民生協力員」を制度化
地域の元気な高齢者が、困っている高齢者を支える
シルバー人材センター、市町村社協への支援
- ・ 支え合いのふるさとづくり 【7,456(②8,886)】
地域の課題を解決するためのソフト・ハード事業を支援
地域福祉計画の策定・推進



4 安全・安心に暮らせる社会づくり

- ・(新)孤立集落通信確保 【(②補)125,328】*
孤立集落の被災状況をいち早く把握するため、通信機器を導入し通信孤立を解消
- ・(新)シニアのICT活用による地域活性化モデル 【4,646】*
ネットスーパー事業者と連携し、過疎地でも都市部並みの消費活動が営める環境づくりを田辺市で行う
- ・(新)人口減少地域等交通活性化・再生支援 【24,000】*

7 医師の確保や地域医療の充実

【政策課題】

- ・ 県民の医療サービスの享受に対する不安の払拭
- ・ 医師の確保と医療機関の機能分担

【政策の方向】

- 地域の拠点病院等の診療体制の堅持
- 救急医療体制の確保

【達成のための政策】

1 地域の拠点病院等における医師確保と定着促進

- 地域医療に従事する医師の確保と養成
 - ・ 医師確保対策【7,333(◎4,309)】
わかやまドクターバンクや医師募集サイト「青洲医師ネット」による即戦力確保
臨床研修医の確保と研修体制の充実
 - ・ 地域医療支援【93,830(◎93,830)】
医大との連携による医療体制の確保
 - ・ 県立医科大学の入学定員増(◎60名 → ◎85名 → 95名)
医科大学教育棟整備【85,350(◎709,080)】
「地域医療枠」入学者への修学資金(医師確保修学資金*)
 - ・ 紀北分院整備【2,508,640(◎124,253)】
- 不足診療科等に従事する医師の確保と定着
 - ・ (新) 救急・産科医療を担う勤務医確保【21,179】
救急勤務医や産科医の定着促進を支援
 - ・ 医師確保修学資金【63,400(◎48,424)】
小児科、産科等従事希望者に修学資金を貸与

「和歌山県保健医療計画(H20.3)」の推進

- 医師等の働きやすい環境整備
 - ・ (新) 病院勤務医が働きやすい環境づくり【18,116】
開業医や退職医師等と連携した勤務医の負担軽減
 - ・ 病院内保育の促進【36,161(◎18,801)】
病院内保育所の運営を支援
(新)病院内保育所の新規開設に伴う施設整備を支援
 - ・ (新) 第3期医療情報システム整備【2,000,000】
電子カルテの導入など医療機関の連携システムの構築等
- 2 救急医療連携体制の整備と機能分担
 - 救急患者の迅速な搬送
 - ・ (新) 救急患者搬送受け入れ支援【12,522】
医療機関の診療可否情報のリアルタイム化等
 - ・ 救急医療対策【447,932(◎442,277)】*
ドクターヘリの運航(◎大阪府、徳島県とヘリの相互利用を開始)
 - ・ 安心して出産できる医療体制づくり【24,857(◎24,703)】*
新生児搬送用車両の運行
 - 救急医療体制等の整備
 - ・ 救急医療対策*
救急告示医療機関・救命救急センターへの支援
 - ・ あんしん子育て救急整備【11,930(◎13,259)】
 - 救急医療の機能分担
 - ・ (新) 救急医療情報センター電話相談待機解消【1,146】
 - ・ 子ども救急相談ダイヤル#8000【8,363(◎8,425)】
 - 周産期医療体制の確保
 - ・ 安心して出産できる医療体制づくり*
総合周産期母子医療センターへの支援等

8 健康長寿・がん対策の推進

【政策課題】

- ・県民の健康長寿
- ・本県における死因第1位「がん」への対策

【政策の方向】

- 生涯を通じた健康づくりの推進
- がん対策の総合的な推進

【達成のための政策】

1 生涯を通じた健康づくりの推進

- あらゆる世代の健康づくり
 - ・健康長寿のための地域・職域連携【4,423(◎11,520)】
地域・職域リーダーの養成
乳幼児・小・中・高校生から育児世代・勤労世代それぞれへの生活習慣病予防
 - ・(新)介護予防運動の推進【5,000】*
高齢者の自助、共助による介護予防の仕組みの構築
 - ・特定健診・特定保健指導支援【99,749(◎130,710)】
- 地域の特性を活かした健康づくり
 - ・熊野健康村推進【9,240(◎12,600)】
蘇りの地「世界遺産・熊野」が持つ優れた地域資源を活用し、心身の健康づくりを進める滞在型プログラム“熊野セラピー”を展開
- 食育を通じた健康づくり
 - ・県内小中学校への栄養教諭の増員
 - ・わかやま食育推進総合対策【10,326(◎11,596)】
 - ・「食育応援店」の登録推進
- こころの健康づくり
 - ・子どもメンタルクリニック運営【4,319(◎2,465)】
 - ・こころの健康相談【4,710(◎4,822)】
「こころの健康相談統一ダイヤル」

「第二次和歌山県健康増進計画(H20.3)」の推進

2 がん対策の総合的な推進 【65,561(◎57,912)】

- がんの予防
 - ・がんの予防に関する普及啓発
- がんの早期発見
 - ・がん検診の推進
がん検診受診機会の拡大や未受診者の掘り起こしなど、がん検診受診率向上に取り組む市町村への支援
 - ・がん検診従事者の技能向上
- がん診療体制の整備・充実
 - ・がん診療連携拠点病院の機能強化
- 患者・家族に対する支援
 - ・緩和ケア提供体制の充実
- がん登録の推進
 - ・(新)院内がん登録の推進
新たに県が指定するがん診療連携拠点病院に準ずる病院及び各地域の拠点病院のうちがんの診断・治療に一定の役割を担っている病院でがん登録を実施

「和歌山県がん対策推進計画(H20.3)」の推進

9 元気企業の誘致・育成支援

【政策課題】

- ・バランスのとれた産業構造への転換
- ・中小企業の競争力強化
- ・産業人材の確保と雇用の推進

【政策の方向】

- 新産業の創出
- 経営革新や販路開拓等の取組への支援
- 企業立地の促進
- 若年者雇用対策の推進

【達成のための政策】

1 新リーディング産業の創出

- 高度な技術シーズの創出・活用
 - ・(新)新産業創出推進【6,000】
産学官による研究コンソーシアムの構築
 - ・新食品産業創出支援【12,136(◎17,984)】
 - ・都市エリア産学官連携促進【21,500(◎44,000)】
 - ・戦略的研究開発プラン【81,483(◎86,802)】
 - ・研究開発強化推進【34,275(◎51,458)】
- 知的財産の戦略的活用促進
 - ・知的財産戦略【12,741(◎10,718)】
「和歌山県知的財産戦略(H20.9)」の推進
(財)わかやま産業振興財団に産学官連携コーディネーターを配置
 - ・(新)発明の祭典inわかやま【2,000】
(社)発明協会和歌山県支部が60周年記念で開催する「発明の祭典」を支援

2 和歌山産業の成長力強化

- 新事業創出等への支援
 - ・(新)「わかやま農商工連携ファンド」【1,700,000】*
総額20億円の基金の運用益により、農林漁業者と中小企業者が連携した新たな産業やわかやまブランドを創出
 - ・「わかやま中小企業元気ファンド」
 - ・成長企業育成支援【3,974(◎2,503)】
専門家で構成する「サポーターチーム」の派遣等
(新)小規模だが有望な技術等を有する企業の発掘・支援

- 新事業創出等への支援
 - ・ 中小企業への中核人材導入支援【6,000(◎9,000)】
 - ・ 地場産業等総合振興【21,000(◎21,127)】
産地組合等に対する支援・指導
(新)感性価値を活かしたモノづくりシンポジウムの開催
 - ・ 「プレミアム和歌山」の振興【6,918(◎2,034)】
- 海外への販路開拓支援
 - ・ 国際経済交流支援【17,220(◎19,744)】
- 県内企業が求める人材の育成
 - ・(新)大学や和高専で、県内企業経営者等が実践的な講義を実施

3 企業誘致

- 紀ノ川企業集積ベルト地帯構想(H20.2 国の同意)の推進
- 南紀広域企業集積構想(H20.9 国の同意)の推進
 - ・ 誘致企業の選択と集中
 - ・ 地域資源活用型産業の積極的誘致

4 雇用の推進

- 若年者雇用対策
 - ・ 若年者トータルサポート【23,671(◎24,886)】*
 - ・ 教育コンソーシアムWAKAYAMA【5,912(◎7,047)】*
- 緊急的な雇用対策
 - ・(新)ふるさと雇用再生特別基金を活用した安定的な雇用継続が見込まれる事業【1,572,339】
 - ・(新)緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用した臨時的・一時的な雇用創出事業【600,000】

10 農業王国わかやまの創造

【政策課題】

- ・農業所得の向上
- ・多様な担い手の育成・確保
- ・働きやすい農地づくり

【政策の方向】

- 収益性の高い農業づくり
- 農業を担う人・組織づくり
- 優良な農地づくりと有効活用

【達成のための政策】

1 新農業総合戦略の推進

- (新)新農林水産業戦略プロジェクト推進【111,594】*
生産・加工・流通・販売対策の総合的な推進を基本に、地域や品目毎の課題に対応した戦略プロジェクトを総力をあげて推進
- アグリビジネスの構築
 - ・わかやまブランド支援【4,292(◎1,892)】
 - ・都市農村交流型アグリビジネス支援【7,900(◎7,900)】*
 - ・(新)「わかやま農商工連携ファンド」の活用*
 - ・(新)ジビエで地域おこし【5,125】
イノシシ・シカ肉などの食肉の処理施設整備や流通対策等を実施
- 安全で高品質な農産物の安定生産
 - ・果樹立国わかやま活性化【161,000(◎30,000)】
 - ・県試験場での新品種等の開発
 - ・わかやま農産物安心プラス【10,911】
出荷前の残留農薬検査を支援
 - ・農作物鳥獣害対策強化【65,011(◎63,415)】

2 農産物等の販売促進

- 国内での販売促進
 - ・国内大型展示会出展【25,580(◎14,737)】
FOODEX JAPAN(H22.3)、食博覧会(H21.4)等への出展
 - ・県産農産物販路拡大推進【12,337(◎13,030)】
 - ・県産品大消費地情報発信【11,629(◎5,000)】
 - ・県産品販路開拓コーディネート【19,874(◎21,494)】

- 海外への市場開拓
 - ・和歌山県農水産物・加工食品輸出促進【16,372(◎17,049)】
見本市への出展、海外フェアの開催、輸出促進セミナー等

「農水産物・加工食品の販売促進戦略」**(アクションプログラム)の推進****3 農業を担う人・組織づくり**

- 中核となる認定農業者・農業法人の育成
 - ・(新)地域農業の核となる6次産業型農業法人の育成を支援
 - ・和歌山版果樹産地づくり総合支援【29,913(◎29,263)】
- 多様な担い手の確保
 - ・新農業人あんしん自立支援【16,702(◎14,270)】

4 優良な農地づくりと有効活用

- 省力化・低コスト化が可能な農地づくり
 - ・次世代につなぐ低コスト優良園地づくり【35,200(◎40,000)】
 - ・県単小規模土地改良【127,500(◎131,500)】
- 担い手への農地集積と多様な農地活用
 - ・企業のふる里の推進
企業との協働による遊休農地の解消
 - ・農地保有合理化【8,177(◎10,634)】

11 紀州林業の復権

【政策課題】

- ・林業・木材産業の生産性の向上
- ・健全な森林づくり

【政策の方向】

- 低コスト林業の推進
- 紀州材の需要拡大
- 多様な主体による森林づくりの推進

【達成のための政策】

1 低コスト林業の推進

- 作業道等の整備や機械化の促進
 - ・ 森のチカラ再生サポート【129,139(◎96,000)】
安価な作業道等の整備
(新)間伐材等の工場直送のための山土場整備への支援
 - ・ 補助林道【862,567(◎768,069)】
 - ・ 機械化林業推進【120,339(◎170,639)】
 - ・ 紀州材供給体制整備支援【17,876(◎23,608)】
森林組合に対し、生産性の高い林業機械の導入を支援

2 紀州材の利用拡大・販路開拓

- 大消費地等へ販路開拓や新たな需要創出
 - ・ 紀州材販売プロジェクト【14,677(◎16,346)】
県外展示会への出展など都市部等への紀州材の販売・PR活動
 - ・ 紀州材需要創出【134,355(◎122,781)】
トーキョープロモーション、公共施設の木造・木質化への支援等
 - ・(新)紀州材の強度性能に関する研究【2,615】
強度等紀州材の高い品質を明らかにする調査研究を実施
- 木質バイオマス利用の促進
 - ・(新)地域密着型木質バイオマス利用・普及モデル【63,512】*
木質パウダー燃料の製造・利用施設の整備を支援し、木質バイオマスの地域循環システムの構築を推進(国内初)
 - ・(新)低コスト間伐システムの開発とバイオマス発電実証実験【(◎補24,898)】*
わかやま産業振興財団を中心に、木質チップの利用によるバイオマス発電の実用化実証試験を実施

3 健全な森林づくりの推進

- 企業等による森林保全活動の推進
 - ・ 「企業の森」推進【6,028(◎8,049)】
情報誌の発行やエコプロダクツ2009への出展
- 県、市町村、森林組合などによる計画的な間伐実施
 - ・ 治山(森林整備)【722,981(◎989,804)】
間伐等2,000ha実施
 - ・ 木の国森林づくり(公共造林)【983,405(◎1,019,336)】
間伐等7,600ha実施
 - ・(新)森林環境の保全整備重点【紀の国森づくり基金を活用】
世界遺産周辺や水源地上流等の森林環境を重点的に整備
- 第62回全国植樹祭の開催準備
 - ・(新)全国植樹祭準備【13,551】
実行委員会の設立や基本計画の策定など、平成23年春季の和歌山県開催に向けた準備

「紀州材生産販売プラン(H20.1)」の推進

12 水産わかやまの再生(新)

【政策課題】

- ・水産業の収益性の向上
- ・水産資源の維持・回復

【政策の方向】

- 経営の低コスト化や流通・販売体制の強化
- 養殖業の振興や観光業との連携
- 豊かな海・川づくり

【達成のための政策】

1 流通・販売体制の強化

- 水産物流通の効率化と販路開拓
 - ・(新)水産物流通・交流拠点整備【335,272】
人と物が集積する拠点市場の整備への支援
 - ・産地市場統合支援【60,672(◎20,330)】
魚種ごとに安定出荷を図るための機能市場等の整備への支援
 - ・水産業振興【8,336(◎5,469)】
水産物販路開拓アドバイザーを活用した新たな販路開拓等
 - ・次世代につなぐ水産業チャレンジ支援【8,000(◎8,000)】
新たな販路開拓や加工等による商品開発を支援
 - ・(新)新農林水産業戦略プロジェクト推進*

2 経営基盤の再構築

- 養殖業の振興
 - ・(新)強い養殖業づくり【2,550】
養殖魚のブランド化・販路拡大への支援
 - ・安全・安心養殖生産奨励【713(◎870)】
 - ・紀州の本クエブランド化に向けた
クエ種苗生産安定化技術開発【7,834(◎8,562)】
- 主要漁業の再生
 - ・(新)主要漁業の構造改革【1,200】
底びき網・船びき網・まき網漁業等の経営安定化に向けた検討

3 豊かな海・川づくり

- 資源管理への取組促進、漁場の整備
 - ・水産基盤整備【184,632(◎198,632)】
 - ・内水面漁業振興対策【9,840(◎10,361)】
 - ・資源管理体制・機能強化総合対策【3,670(◎4,309)】
 - ・(新)海水温上昇に伴う水産業への影響評価
並びに適応策の検討【2,000】

4 観光業との連携促進

- 観光業と連携した新ビジネスの創出
 - ・漁家民泊推進【5,200(◎6,150)】*
認定制度の推進、受入漁家の整備等への支援
 - ・漁港漁村活性化対策【54,280(◎33,020)】
都市との交流に必要なトイレ等周辺整備への支援

「水産業活性化アクションプログラム(H20.2)」の推進

13 観光資源の売り出し促進

【予算:349,414千円】

【政策課題】

- ・豊富な観光資源の活用
- ・観光旅行形態の変化への対応
- ・おもてなしのレベルアップ

【政策の方向】

- 観光資源の魅力発揮
- 誘客対象への効果的なプロモーション
- 「おもてなし力」の向上

【達成のための政策】

1 和歌山を売り出す

- 世界遺産で和歌山を売り出す
 - ・(新)世界遺産登録5周年記念事業の展開
(JR紀勢本線全通50周年記念事業とも連携)
- 温泉で和歌山を売り出す
 - ・白浜、勝浦に代表される温泉地の魅力向上
- ほんまもん体験・田舎暮らしで和歌山を売り出す
 - ・体験メニューの充実とその商品化
- 歴史・浪漫で和歌山を売り出す
 - ・徳川ゆかり、紀伊万葉、湯浅などの伝統ある町並みをPR
- 四季折々の魅力で和歌山を売り出す
 - ・地域の伝統行事、季節の花など季節の魅力をタイムリーに発信
- 食の魅力で和歌山を売り出す
 - ・日高・白浜のクエ、勝浦の生マグロなどのグルメ情報をPR
- 自然の素晴らしさで和歌山を売り出す
 - ・ラムサール、白崎の海など素晴らしい自然をPR
- ブランドで和歌山を売り出す
 - ・プレミアム和歌山を活用した魅力発信

”「観光振興アクションプログラム2009」により積極的に推進”

2 和歌山へ招く

- 国内の誘客
 - ・多様なチャンネルによる積極的なPR展開
マスメディア活用や観光展への出展
ふるさと大使やわかやま応援団による情報発信
 - ・旅行会社に対する商品造成の働きかけ(着地型、発地型)
- 海外からの誘客
 - ・観光展出展やセールススクールなどの観光プロモーション
 - ・メディア・旅行エージェントの県内取材・視察の招請
 - ・若年層の交流に向けた教育旅行の誘致
 - ・(新)2010年開催の上海万博での和歌山PRに向けた準備
- 目的別の誘客
 - ・「ほんまもん体験」を活用した修学旅行誘致
 - ・コンベンション誘致、国際ミーティング・エキスポへの出展
 - ・スポーツ合宿誘致のプロモーション活動
 - ・(新)年金旅行の誘致

3 和歌山でもてなす

- おもてなし力の向上
 - ・各種研修の実施による接遇の向上
 - ・(新)おもてなし実践研修の充実
 - ・語り部等の人材育成
 - ・公衆トイレや観光案内板などの施設整備

1 4 元気な地域づくり（新）

【予算：492,795千円】

【政策課題】

- ・ 農山漁村の活力の再生
- ・ 都市住民の定住・二地域居住願望の高まり
- ・ にぎわいが薄れ、魅力が低下しつつある中心市街地の再生

【政策の方向】

- 地域資源を活かした産業の活性化
- 農山漁村の集落機能維持
- わかやま田舎暮らしの支援
- 中心市街地再生の支援

【達成のための政策】

1 地域資源を活かした産業の活性化

- (新)わがまち元気プロジェクト支援【20,000】

地域資源を核とした「1市町村1産業」の創出に取り組む市町村を総合的に支援

九度山町・湯浅町・御坊市・すさみ町で立ち上げ
随時プロジェクトを掘り起こし(21年度に10プロジェクトをめざす)

2 農山漁村の集落機能維持対策

- 生活の利便性確保と定住環境の整備

- ・ バスをはじめとする移動手段の確保

広域・幹線バス路線の維持

- (新)人口減少地域等交通活性化・再生支援【24,000】*

公共交通(生活交通路線)の廃止される地域、公共交通空白地域においてコミュニティバス・乗合タクシー等の導入を支援

- ・ ITを活用した生活の利便性向上

情報通信ハードインフラの整備

- (新)シニアのICT活用による地域活性化モデル【4,646】*

ネットスーパー事業者と連携し、過疎地でも都市部並みの消費活動が営める環境づくりを田辺市で行う

- ・ 地域の診療体制確保

医師確保対策(県立医大への地域医療枠設置や自治医大卒業医師の活用)、へき地医療拠点病院・へき地診療所の支援、通信技術の活用等により、へき地医療体制を堅持

- ・(新)住みよい山村集落総合対策【65,308】

定住・生活に必要な施設整備等支援

- ・ 過疎集落への対策

新たな過疎法をにらみ、集落機能の維持再生を支援

- ・(新)孤立集落通信確保【(②補)125,328】*

通信機器を導入し、災害時の通信孤立を解消

3 わかやま田舎暮らしの支援

- UJIターン・二地域居住のきめ細かな受入体制整備

- ・ 移住・交流推進【12,863(②8,459)】

- (新)官民連携による二地域居住推進プロジェクトの実施

地域食材を活用したシェフ・ツアー

毎月、大阪市で田舎暮らしセミナー開催、現地案内実施等

UJIターン者の受入市町村に対する支援(15市町村)

- ・ 新規定住者・移住希望者への支援【46,702(②21,348)】

ふるさと定住センター業務を委託し、田舎生活の体験・修得研修を実施
就農特待生に対して奨励金支給や就農安定資金貸付(新農業人あんしん自立支援)*

- 都市と農山漁村の交流拡大

- ・ 子ども農山漁村南北交流推進【14,702(②5,767)】*

(新)国のモデル事業に加え、県単独でも小学生の農山漁村での宿泊体験による南北交流を新たに開始(300人分を補助)
市町村の受入体制整備を支援(新規6地域)

子ども農山漁村交流プロジェクト(国事業)の活用

- ・ 農林漁家民泊の受入体制づくり【13,100(②14,050)】*

4 中心市街地再生の支援

- 中心市街地再生に向けた市町村の取組を支援

- ・ 都市郊外部も含む広域的な観点からの規制の検討

- ・ 都市中心部での再開発事業などの促進支援

15 魅力ある地域づくり (新)

【政策課題】

- ・ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用
- ・ 本県のすばらしい景観や豊かな自然環境などを活かした地域の魅力づくり

【政策の方向】

- 世界遺産の魅力発信と世界遺産にふさわしい地域づくりの推進
- 「文化で元気」な地域づくり
- 景観と自然環境の適切な保全
- 健全なマリンレジャーの推進

【達成のための政策】

1 世界遺産登録5周年事業の展開

- フラッグシップシンポジウムの開催
 - ・ (新)世界遺産シンポジウム(東京・大阪・和歌山・本宮)【10,100】
東京・大阪・和歌山・本宮でシンポジウムを開催し、「紀伊山地の霊場と参詣道」の顕著な普遍的価値を世界に向けて発信
- 古道ウォークイベントの開催
 - ・ (新)一万人の参詣道「環境保全」活動【5,500】
参詣道の環境保全(清掃、道普請、企業CSR等)ウォーク等を大々的に展開し、環境保全先進地世界遺産としてブランド化
 - ・ (新)三県連携リレーウォーク
三重県・奈良県と連携したリレーウォークを実施(高野山町石道)
 - ・ (新)熊野詣の誘客～語りが導く熊野三山～【1,750】
三山巡りスタンプラリーなどによる熊野三山巡りへの誘客
- 特別・記念展の開催(県立美術館・県立博物館)
 - ・ (新)特別展「世界遺産登録5周年記念 描かれた高野・熊野」【16,000】
 - ・ (新)特別展「熊野三山ー熊野信仰の祈りのかたちー」【5,693】
- さまざまな共催イベントの開催
 - ・ (新)積極的なPR活動の展開【5,000】
JR紀勢本線全通50周年タイアップPR
南海電車 高野線 観光列車「天空」タイアップPR
ネクスコ西日本タイアップPR
将棋「名人戦」高野山
首都圏主要書店タイアップPR

2 文化力の強化

- 文化芸術の振興
 - ・ (新)和歌山県文化芸術振興条例の施行(H21.4予定)
 - ・ (新)文化芸術振興基本計画(仮称)の策定
 - ・ (新)地域の文化団体・市町村等と連携した文化振興【4,500】

3 景観と自然環境の適切な保全

- 良好な景観の保全と形成
 - ・ わかやま 景観保全と形成【4,695(◎16,200)】
新たな特定景観形成地域の指定、屋外広告物の規制など、良好な景観形成に向けた動きを更に推進
- 自然環境の保全の推進
 - ・ (新)稀少動植物の保護による自然環境保全【5,392】
レッドデータブックの改訂作業
- 土砂・廃棄物の適正処理の推進と監視の強化
 - ・ (新)不適正処理防止条例施行運用【5,859】
 - ・ 電子マニフェスト活用等不法投棄重点監視推進
【4,460(◎6,500)】

4 健全なマリンレジャーの推進

- 放置艇対策の推進
 - ・ (新)紀中・紀南エリアにおける放置艇対策に着手【10,800】
放置等禁止区域などの規制区域を県下全域に拡大
 - ・ 係留保管施設の整備【184,000(うち◎補70,000)(◎105,570)】
紀北エリアにおける小型船舶係留施設の整備や漁港等の残スペースの活用

1 6 地球温暖化対策と循環型社会の構築

【政策課題】

- ・ 温室効果ガス増加による地球温暖化への対応
- ・ 大量生産・大量消費・大量廃棄型社会の見直し

【政策の方向】

- 新エネルギーと省エネルギーの推進
～太陽と緑の恵み 和歌山県～
- 温室効果ガスの排出抑制
- 3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用)の促進

【達成のための政策】

1 太陽光の利用促進

○住宅への導入促進

- ・ 住宅用太陽光発電導入促進【20,000(◎20,000)】
資源エネルギー庁の「太陽光発電導入支援対策費補助金」の積極的な併用で、より安価に住宅への導入を促進

※エネ庁(7万円/kw)に加え、県補助(2.5万円/kw)を併用すれば、より負担が軽く設置可能。

○公共施設への率先導入

- ・(新)和歌山県庁舎・図書館等に太陽光発電設備を導入【44,520】
3カ年で庁舎・教育施設等8箇所への導入を予定
- ・(新)和歌山駅前など代表的スポットに「太陽光発電LED街路

灯」

2 バイオマスエネルギーの利用促進

○バイオマスエネルギーの利用促進

- ・(新)地域密着型木質バイオマス利用・普及モデル【63,512】*
木質パウダー燃料の製造・利用施設の整備を支援し、木質バイオマスの地域循環システムの構築を推進(国内初)
- ・(新)低コスト間伐システムの開発とバイオマス発電実証実験
【(◎補)24,898】*
わかやま産業振興財団を中心に、木質チップの利用によるバイオマス発電の実用化実証試験を実施(2億円)

3 温室効果ガスの排出抑制

○家庭部門における温室効果ガスの排出抑制

- ・ 地球温暖化防止活動推進センターや地域協議会等を主体に、環境家計簿カレンダーの活用など、草の根の普及啓発を推進

○二酸化炭素吸収源対策としての森林づくり

- ・ 健全な森林づくりの推進*
「企業の森」等の森林整備事業をはじめとして、低コスト林業、紀州材の需要拡大を進めることにより、二酸化炭素の吸収源となる森林づくりを推進

4 3Rの推進

○県民のごみ減量意識の高揚

- ・ 和歌山ノーレジ袋推進協議会活動の拡大
ノーレジ袋運動への参画事業者の拡大を推進
容器廃棄物の削減及びリサイクルに取り組む

○リサイクル製品の利用促進

- ・ リサイクル調達支援【17,000(◎18,900)】
認定リサイクル製品を用いたモデル工事を実施

17 東南海・南海地震等の自然災害への備え

【予算：16,314,799千円】

【政策課題】

- ・ 毎年発生する風水害・土砂災害
- ・ 発生の可能性が高まりつつある大規模地震

【政策の方向】

- 災害予防・減災のための着実な基盤づくり
- 防災教育・啓発による地域防災力の向上
- 迅速かつ適切な対策

【達成のための政策】

1 災害予防・減災のための着実な基盤づくり

- 東南海・南海地震対策
 - ・ 県土基盤の着実な地震・津波対策
【3,353,000(うち②補985,000)(②3,045,000)】
 - 橋梁の耐震化
H25年度末までに緊急輸送道路の橋梁の耐震化完了
河川堤防の耐震補強、堤防嵩上げ、水門緊急操作化
海岸の津波対策(津波防波堤整備、海岸保全施設の補強等)
・(新)和歌山下津港海岸(海南地区)直轄海岸保全施設整備
可動式津波防波堤などの津波浸水防止対策が新規採択
 - ・ 防災拠点の耐震化
防災拠点となる県有施設の耐震化
【3,151,106(内②補295,605)(②3,174,562)】
H26年度末までに県有施設の耐震化完了
県庁舎地震対策(ロッカー等設備の固定)【5,755(②10,272)】
- 水害・土砂災害対策
 - ・ いち早く逃がすためのソフト整備
ハザードマップ作成支援【27,000(②6,000)】
危険箇所を土砂災害警戒区域等に指定【300,000(②300,000)】
インターネットによる水防・洪水等の伝達【94,988(②124,806)】
急激な増水への安全対策:緊急警報施設等の整備
(新)災害・洪水情報データ放送【5,000】
洪水情報テレビ放送のための配信システム整備
 - ・ 生命・財産を守るハード整備
切目川ダム建設【1,700,000(②1,500,000)】
ダム本体工(転流工)着手
河川の改修【2,600,000(うち②補184,000)(②2,558,400)】
堤防建設・河道拡幅・河床掘削
土砂災害防止対策【4,293,942(②4,647,550)】

2 防災教育・啓発による地域防災力の向上

- 地域防災体制の整備・強化の支援
 - ・ 木造住宅耐震化促進【103,775(②100,135)】
(新)耐震改修サポート事業(耐震補強に関する各種相談・手助け)、
補強設計に対する補助などに新たに取り組み、耐震診断から
耐震改修への移行を円滑化
 - ・ 地震防災対策事業支援補助金【50,000(②50,000)】

3 迅速かつ適切な対策

- 災害時の情報収集・伝達体制の強化
 - ・ (新)孤立集落通信確保【(②補)125,328】*
孤立集落の被災状況をいち早く把握するため、通信機器を導入し
通信孤立を解消
 - ・ (新)地震対策の強化【(②補)232,084】
県有施設(庁舎・学校等)へ緊急地震速報を導入
現行の震度情報ネットワークの再構築
- 迅速な初動対応による早期復旧
 - ・ (新)大規模災害への対応迅速化【(②補)42,840】
被災情報を迅速に収集・分析し、二次災害を避けつつ早期復旧
を図るための手段確保
- 災害医療対策
 - ・ 災害拠点病院施設整備【53,587】
日赤和歌山医療センター新本館建築に合わせ、災害拠点病院
を整備
 - ・ (新)災害派遣医療チーム(DMAT)設備整備【(②補)43,589】
災害時に初期対応を行う災害派遣医療チームの資機材・通信
機器等について、県内の7チームを整備

18 日々の暮らしを守る安全安心の確保（新）

【予算：147,555千円】

【政策課題】

- ・ 消費生活や食の安全に対する不安の払拭
- ・ 犯罪の抑止と検挙による治安の向上

【政策の方向】

- 消費生活における安全・安心の確保
- 食の安全性・信頼性の確保
- 悪質・重要な犯罪の徹底検挙
- 少年非行防止・保護総合対策の推進

【達成のための政策】

1 消費生活や食の安全安心の確保

○消費生活相談体制の充実強化

- ・(新)消費者行政活性化【31,443】

今後3年間で県と市町村が消費者行政の強化に向けて取り組む「消費者行政活性化計画」を策定するとともに、消費生活相談を担う人材の育成、消費生活相談窓口の周知啓発等を実施

○製造から流通までの食の安全安心の確保

- ・(新)安全・安心な食品の確保対策【1,477】
流通・販売段階での衛生管理マニュアルを作成し、導入を促進
- ・ HACCP導入促進【2,242(◎2,489)】
食品の生産(農場、養殖場等)、製造・加工段階での衛生管理認証制度の運用と普及
- ・ 食品表示適正化推進【2,962(◎3,079)】
食品表示推進者の育成
- ・ 食の安全確保推進プロジェクト【3,318(◎2,736)】
食の安全タウンミーティングの開催等

○いわゆる健康食品による健康被害の拡大防止

- ・(新)いわゆる健康食品の安全対策【3,373】

いわゆる健康食品による健康被害に対応し、医療機関からの収集情報に基づいて成分検査の実施や県民への情報提供を実施、被害の拡大を防止

2 まちの安全安心の確保

○悪質・重要犯罪に対応した警察の基盤整備

- ・(新)警察官の増員【14名】

子どもと女性を性犯罪等の被害から守るための体制強化
一層緻密かつ適正な死体取扱業務を推進するための体制強化

- ・(新)紀州NETの充実・強化【37,670】

警察本部・警察署のパソコンのネットワーク化を推進

- ・ 「きしゅう君の防犯メール」の活用により地域安全情報、交通関係情報等の警察からの各種情報をタイムリーかつピンポイントに県民等に提供

○少年非行防止・保護総合対策の推進

- ・ きのくにスクールサポート【16,382(◎8,191)】*

生徒の問題行動の未然防止と規範意識の高揚を図るため、非行防止教室を実施するとともに、教職員と協力して問題の解決にあたる「学校支援サポーター」を学校に派遣

19 交通ネットワークの整備

【政策課題】

- ・ 全国水準から大幅に立ち遅れている道路整備
- ・ 地域の実情に応じた公共交通の維持充実

【政策の方向】

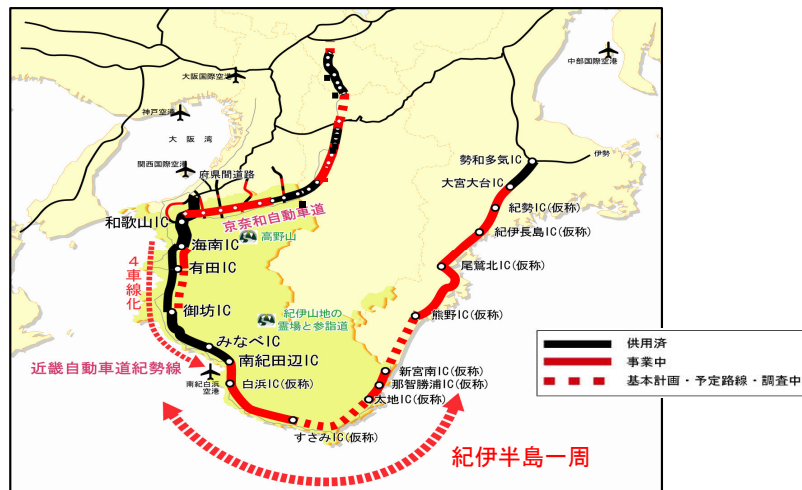
- 高速道路ネットワークの早期形成
- 高速道路を補完し県内各地域へ連絡する幹線道路
- 基本的生活に不可欠な道路整備
- 公共交通の利便性向上と利用促進

【達成のための政策】

1 高速道路ネットワーク整備

【12,906百万円(うち②補966百万円)(②10,530百万円)】

- 近畿自動車道紀勢線～紀伊半島一周の早期実現～
すさみICまで平成27年の完成を目標に整備促進
 - ・ 海南～有田間 早期4車線化促進
 - ・ 田辺～すさみ間 新直轄事業促進
 - ・ 那智勝浦道路 事業促進
- すさみ以南の整備方針確立
- 京奈和自動車道～近畿の交流連携促進～
平成27年の県内全線完成を目標に整備促進
 - ・ 紀北東・紀北西道路 全区間事業促進
- 直轄事業の促進
 - ・ 国道26号和歌山岬道路、国道42号有田海南道路、田辺西BPの整備促進
 - ・ 直轄権限代行の国道169号奥漣道路Ⅱ期の整備促進



2 府県間道路整備 【2,230百万円(うち②補150百万円)(②2,190百万円)】

- ・ 国道371号 整備促進
- ・ 国道480号鍋谷峠道路の整備促進(直轄権限代行)
- ・ 県道泉佐野岩出線 府県境までの4車線化推進(H21完了)
- ・ 県道泉佐野打田線 ICアクセス道路整備推進

3 内陸部骨格道路整備(X軸ネットワーク等)

【5,835百万円(うち②補60百万円)(②5,255百万円)】

X軸ネットワーク(高速道路を補完する区間)を平成23年度概成に向け優先整備

- ・ 国道424号修理川バイパス(H21完了)
- ・ 国道425号福井バイパス
- ・ 国道480号梨子ノ木バイパス

4 高速道路関連整備(ICアクセス)

【3,700百万円(うち②補100百万円)(②3,510百万円)】

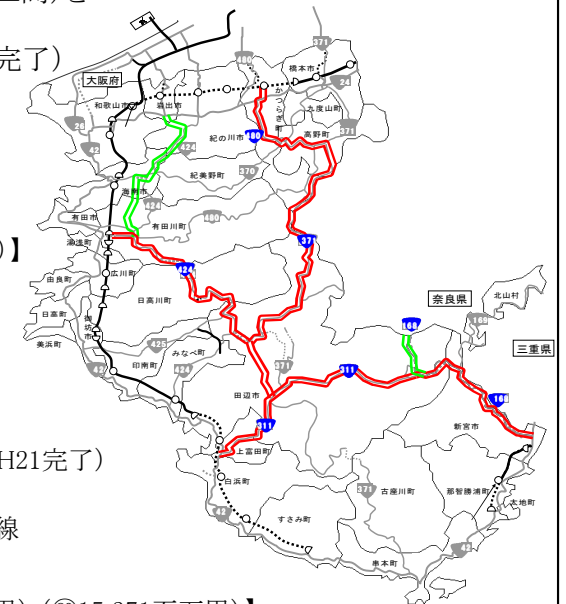
高速道路供用に合わせ事業推進

- ・ 京奈和自動車道関連
県道西川原粉河線
町道大谷連絡線(代行)
- ・ 和歌山北IC関連
県道小豆島船所線(和歌山北IC H21完了)
- ・ 近畿自動車道紀勢線関連
県道吉備金屋線、県道白浜温泉線

5 生活道路整備

【14,901百万円(うち②補351百万円)(②15,371百万円)】

- 1) 生活圏30分圏域の拡大に資する道路
 - 2) 高速道路ICから60分圏域の拡大に資する道路
 - 3) あと少しの整備で効果のでる道路
 - 4) 防災上必要不可欠な道路(改築系)
- など基本的生活に不可欠な道路の整備推進



【達成のための政策】

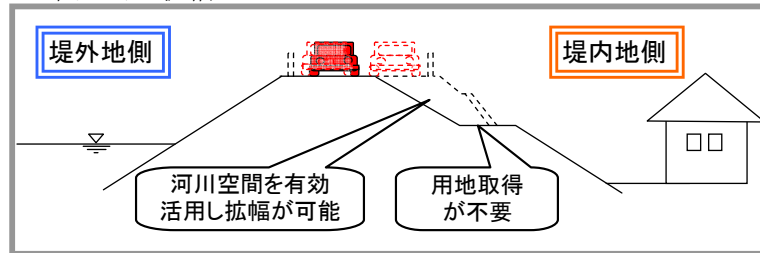
6 事業のスピードアップ

- 完了目標の公表等による事業期間の大幅短縮
事業着手前の地元合意形成、完了目標年次の公表など、事業の進め方を改善することにより、事業期間を大幅に短縮

※ 改築系事業 国道 11年 → 7年(4年短縮)
 県道 8年 → 5年(3年短縮)

○コストの縮減

- ・河川堤防を利用した隘路の解消
背後地に家屋が連なっていて用地取得が困難なため整備が進まなかった堤防道路を、堤防法面など河川空間の有効活用により早期・低コストで拡幅



- ・幅員の見直し 歩道の幅員見直し、都市計画道路の幅員の見直し
- ・道路構造の見直し 大規模バイパス → 現道拡幅

7 効率的な維持管理

- 橋梁の長寿命化
定期的に点検を行い、損傷が顕著化する前に補修・塗装等の予防的な対策を実施することにより、ライフサイクルコストを縮減

○住民との協働

道路管理(植栽の剪定や水やりなど)を沿道住民・企業の直接参画やスポンサー企業の公募等により行う「わかやま道路パートナー制度」を創設し、インフラの維持管理における住民との協働と管理コストの縮減を実現

8 公共交通の利便性向上と利用促進【466百万円(◎330百万円)】

- 内陸部における生活交通の維持
 - ・広域・幹線バス路線の維持【161,270(◎167,936)】
 - ・(新)人口減少地域等交通活性化・再生支援【24,000】*
公共交通(生活交通路線)の廃止される地域、公共交通空白地域においてコミュニティバス・乗合タクシー等の導入を支援
- 環境にやさしい高野山地域の交通対策
 - ・高野山地域交通対策
南海高野線への観光列車「天空」導入を契機に、高野線・ケーブルカーを利用した、ふもと地域～高野山内の周遊観光ルートをPR
- 紀の川流域等都市型交通対策
 - ・マイカーから公共交通機関への利用転換を促進
 - ・和歌山大学新駅(仮称)設置推進【172,096(◎103,964)】
 - ・(新)貴志川線変電所設備整備【22,000】
和歌山電鐵が行う変電所設備整備を支援
- 誰もが安心して利用できる公共交通の確保
 - ・鉄道駅のバリアフリー化【25,667(◎10,122)】
JR六十谷駅、紀伊田辺駅、黒江駅、JR・南海橋本駅のバリアフリー化を支援
 - ・ノンステップバス導入【61,308(◎48,335)】
10社18台の導入を支援

20 情報基盤の充実

【予算:390,089千円】

【政策課題】

- ・ 地域間の情報格差(デジタル・ディバイド)の発生
- ・ IT利活用による生活の利便性向上

【政策の方向】

- ブロードバンド基盤整備の推進
- 携帯電話不感地域の解消
- 地上デジタル放送への円滑な移行
- ITの利活用の促進

和歌山県ブロードバンド5か年計画
和歌山県携帯電話つながるプラン
の着実な遂行

【達成のための政策】

1 情報通信のハードインフラの整備

- ブロードバンド未提供地域の解消に向けた支援
 - ・ 情報通信基盤整備【(20補)100,000(2070,000)】
- 携帯電話不感地域の解消に向けた支援
 - ・ 携帯電話等エリア整備【143,896(20281,623)】
- 地上デジタル放送難視対策を支援
 - ・ 地上デジタル放送難視解消推進【13,709(2010,000)】

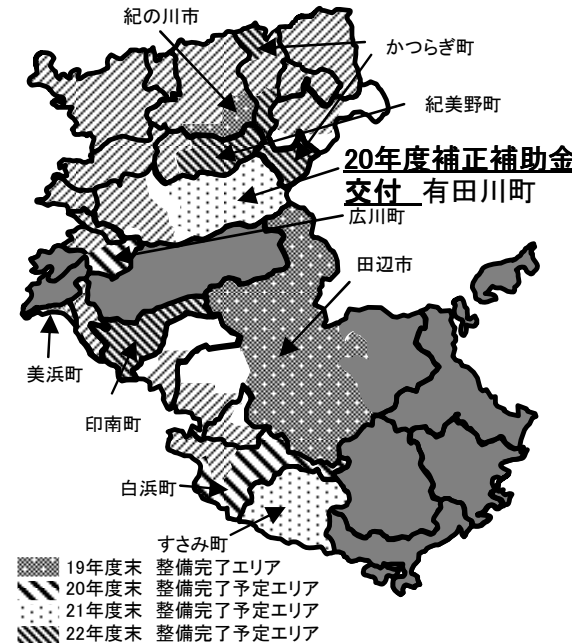
2 ITを効果的に利用できる人材の育成

- 県産品等のネット販売のノウハウ取得を支援
 - ・ 和歌山を元気にするIT人材育成【7,000(207,000)】

3 県活性化に向けたITの戦略的活用

- 携帯サイトでの県産品の販売拡大と情報発信
 - ・ (新)QRコードで和歌山まるごと売り出し【3,500】
携帯サイトとQRコードの活用により、県産品の販売を促進するとともに、観光情報等の県の情報を効果的に発信
- ICTを活用した暮らしの実現(過疎型モデル)
 - ・ (新)シニアのICT活用による地域活性化モデル【4,646】*
ネットスーパー事業者と連携し、過疎地でも都市部並みの消費活動が営める環境づくりを田辺市で行う

ブロードバンド基盤整備の推進状況



携帯電話等エリア整備補助事業
予定箇所(平成21年度)一覧

	予定箇所
国庫補助事業	本宮町静川(田辺市)
	田角(有田川町)
	松根(古座川町)
	小川権平・小川洞尾・山手(古座川町)
	小匠(那智勝浦町)
	田垣内(那智勝浦町)